

第 453 回 例 会

23年4月8日

本日のプログラム

- ・ソング 「それでこそロータリー」
- ・卓話 川上 大雄 会員 「東日本大震災」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「カーテンルーム」

次回(4月15日)のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 クラブフォーラムを通常の卓話に変更(卓話者未定)
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「カーテンルーム」

先週(4月1日)の例会報告

■会長の時間

この度の東日本大震災で被災された皆様、また被災地に所縁の深いご関係の皆様にご心からお見舞い申し上げます。

昨日、花谷会員のお父様の告別式にクラブを代表して笹田幹事と共に参列しました。故人の人脈の広さや人望の厚さがうかがえる立派な社葬で、法務大臣はじめ業界トップの方々の弔辞や500通以上もの弔電供花、そして多くの参列者が早い逝去を惜しみ悲しんでおられました。受付で渡されたA4用紙11枚に書き記された「父・花谷会長に学んだこと、教えられたこと」を拝読いたしました。社員やその家族の幸せ、顧客や協力会社の喜びを第一に考え、赤字を出さない優良申告法人として業界を牽引されてきた経営者としての哲学や家長としてのお人柄、いかに家族や人々に信頼され尊敬され慕われておられたかが文面を通じて良く伝わりました。何より30年あまり保護司として青少年の更正保護活動のボランティアを天職の一つとして会社業以外にも精力的にされておられたことに頭が下がる思いです。その功労に対し法務大臣表彰や永年勤続(30年)表彰が贈られ、またお母様も保護司内助の功として全国保護司連盟会長表彰を贈られているご両親の血を受け継いでいる花谷会員ですから人を大事にされているのだと思いました。喪主としてのご挨拶の中で、尊敬しているお父様を「師」と表現されていたのが印象的で、親子以上の素敵な関係だったのでしょうか。ご尊父さまのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

当日参列された川上会員から「15時間車を運転して震災後の仙台へ行った話」を聞きましたが、考えさせられる体験をされておられますので、今日の卓話当番の鈴木会員の「1600Km運転して福島へ」話と同様に、次回の卓話で話していただこうと思います。この度の震災で偶然が重なって九死に一生を得たり、運命を分けたエピソードが色々と報道されていますが、「危機管理」を再認識させられた事例を2つご紹介しようと思います。

①宮城県・宮戸島(奥松島)・・・平安時代に襲われた大津波の水位を示す石碑が島の高台に建てられており、大津波の恐ろしさが代々伝えられてきた島民は常日頃から津波に対する「危機管理」が徹底されていました。島民1000人の内、不幸にもお1人が亡くなりましたが、島への唯一の橋が自衛隊により復旧され支援物資やメディアが入るまで2週間の間、高台の避難場所で島民全員が家族のように助け合いながら生活していたそうです。「地震発生と同時に石碑より上へ(高台へ)避難」が徹底されていたお陰で、島全体が壊滅的被害だったものの、殆どの島民が命を落とさずに済みました。

②岩手県・大船渡市(三陸海岸南)・・・海から200mの越喜来小学校の横には、避難経路である高台へ向かう坂道がありますが、そこへ行くには、先ず1階の校門から出て海に向かって走り、坂道の下から70m駆け上がる必要がありました。「(登りきるまで約6分)津波の時には間にあわない」と以前から警告し、「山側の校舎2階から坂道の上に出られる非常用橋の設置」を強く呼びかけていた市議のおかげで昨年12月に橋が完成し、児童71名全員が助かりました。その平田市議は震災の9日前に病気で他界されましたが「生きた遺言」です。結局津波は3階建ての校舎のみこみ、橋も避難直後には瓦礫に潰されましたが、副校長の機転で、余震の続くなか更に高台の中学校へ誘導避難したため全員が無事でした。「揺れが収まってから避難・移動」が普通ですが、「大揺れの時はしゃがんで、少しの揺れの時に移動」との判断で高台への移動を最優先した結果でした。

今回の大地震と大津波は「想定外」の規模であったとはいえ、避難勧告の遅れや、河川べりや高台ではなく低地(2階)に避難場所を設置していたところは、折角避難しても津波の犠牲に遭われたりと明暗が分かれました。「危機管理の甘さが露呈した原発問題」も含め「危機管理」がいかに重要であるか、行政側の姿勢や、生きた公共事業のあり方、企業や個人としての「防災意識・危機管理」を改めて深く考え直す必要があります。早い復興を願うばかりですが、前回お願いした「ガバナー会」が中心となっている2660地区(約3700名)継続的義援金以外にも、「EAST JAPAN LOVE」バッチの活用提案(RC以外にHP等で呼びかけ、収益金を寄付等)の要請も受けています。積立金や海外姉妹クラブからの寄付をどのように義援金に充当するか、「対象・目的」が明確な独自ルートで寄付するのかなど各クラブでも議論を重ねています。ロータリアンとして出来ることを積極的に議論し継続して行っていきたいと思います。

【来客紹介】 2名

【出席報告】

23年4月1日(第452回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
27名	1名	21名	5名	80.77%

【幹事報告】

- 【メールBOXに配布】 1)ロータリーの友(4月号) 2)月間地区出席報告(2月分)
3)創立10周年記念式典のご案内 4)大阪西北RCのくわかい倶楽部からのお知らせ

ニコニコ箱(4月1日)

池山 博文 =遂に大阪ガスを離れることになりました。行き先は京都リサーチパーク(株)です。

今までのようには活動しにくくなりますが、今後ともよろしくお祈りします。

川上 大雄 =今年は何と言う年なのでしょう。日本ガンバレ!

森本 良嗣 =年度初めの卓話になりましたね。ご苦労様です。

中井 周治 =桜が咲いて春らしい暖かい日になって来ました。これでスギ花粉さえなければ、最高の春なんです。

【SAA報告】

ニコニコ箱	本日計 4000円	今年度合計 3925439円
-------	-----------	----------------

卓話(4月1日)

「震災復興 寺院本堂」 鈴木 正明 会員

本日は、予定を変更して私の郷里であります福島の話をしたと思います。

福島県は縦の線で、浜通り地方・中通り地方・会津地方と呼んでおります。今回は浜通り地方が、津波により壊滅です。

我が子どもの頃も、地震は頻繁にあり、父親からは『地震の時は、真っ先に引き戸を開けるように、そしてすぐには外に出るな』家が傾いては、建具は開かないので逃げる事が出来ない。

いざと言う時、開けてある戸口から逃げる事。地震直後に外にできれば、地割れにのみこまれる。などでした。

小さな地震はありましたが、平穏な日々を18年間過ごす中、私が中学生のとき『浜通りは景気が良く、急場の歓楽街が出来たそうだ』と聞きました。これが原発景気で、地元の人々を含め工事関係者など、大勢の人たちが原発景気に沸いたそうであります。

北陸の原発には、テロ対策として県警の特殊部隊が、自動小銃で武装して警戒しているとの、話は聞いておりましたが、まさか津波で危機的状況になるとは、全く想像しておりませんでした。

福島においての原子力発電所の事は、景気が良かったとの認識しかないので、友人との電話で、生家からは100キロくらい離れているので大丈夫と話しましたが、心配で福島の兄に確認したら40キロ先にあるとのこと、びっくり仰天でした。

地図で確認したら、40キロで私の郷里、二本松市の東部が入り、私の生家からは約50キロ先に危機的状況の発電所があります。その上、建屋が爆発するは、黒煙は上がるテレビ報道で、兄と相談し娘と孫を非難させようとなり、又、生活物資がないなどの状況を聞き、袋詰ラーメンを買いに走るも品切れ、何とかカップラーメン、生鮮野菜などを買い込んで、3月19日深夜3時に大阪を出発し、途中、富山の知人に段取りして頂いた、ガソリン3缶を積んで走り、二本松には午後2時に着きました。

中通り地方は地震の被害も屋根の棟がわらが崩れる程度で、家屋の損壊などはなかったように見えました。

しかし、ガソリンスタンドが営業しているのは、JAが出光くらいでした。そこに長蛇の列で、一回の給油で1000円分とか、20リッターとの事でした。私の妹も7時間待って20リッターの給油との事でした。地方の交通機関は、各自1台の自家用車時代で路線バスもなくなり、ガソリンは必需品、ガソリンがなければ身動きがとれず、放射線による避難勧告もままならず、といった状況です。

私の生家は農家です。兄は露地物のキュウリ・しいたけなどのキノコ類・稲作をしております。稲作は作付け委託を受け段々と規模が大きくなり、農機具を購入したばかりで今後どうなるだろうか、大変心配しております。今年も、例年通りの作付けをするそうですが、果たして出荷が出来るか、又、作付けをしないと補償の問題もあるので・・・と聞いておりました。

大阪には、翌日の20日に帰ってきました。結果兄の娘と孫は避難せずとなり、独り大阪に戻ってきました。

大阪ユニバーサルシティRC

URL: <http://www.osaka-ucrc.org/>

E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org

創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか